

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本板硝子㈱ 技術研究所 第2研究棟新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県伊丹市鴻池二丁目177番	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条の指定地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,085時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年11月 予定	評価の実施日	2021年11月20日
敷地面積	37,457 m ²	作成者	張田 裕之
建築面積	1,179 m ²	確認日	2021年11月25日
延床面積	4,396 m ²	確認者	張田 裕之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.7</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>都市近郊の研究施設としてゆとりある空間にできるだけ低層・規模が大きくなりな建物配置を考慮した。植栽の配置、建物の色彩計画等、地域環境に配慮した計画としている。</p>		<p>その他</p> <p>建物の色彩計画に関しては地域への配慮として、景観条例に基づく色彩計画を施した。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>研究施設として十分な音・室温・断熱・空気室内環境を備えた建物として計画した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高、室内空間、耐震性能、空調性能に関して、各種研究・試験を行うに十分な配慮を行う設計を心掛けた。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>建物配棟には各棟間に十分なスペースを確保し、適宜緑地帯を設け、環境に配慮する設計を心掛けた。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>建設コストに配慮しつつ、標準以上の性能の維持ができるよう配慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水、非再生資源の使用削減、汚染物質の非利用をできるだけ配慮する設計とした。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>本建物が地域社会へ悪影響を及ぼすことをできるだけ配慮し、会社ブランドの維持向上が図れるよう努めた。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される